

VALUE & QUALITY

株主の皆さまへ

第116期 報告書

2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日



日本バルカー工業株式会社
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

証券コード：7995

THE VALQUA WAY

基本理念

VALUE & QUALITY

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

VALUE & QUALITY

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに第116期報告書をお届けします。

中期経営計画“NV・S7”がスタートした当期における日本経済は、前半は米国における好況と為替円安を背景にゆるやかな回復傾向を維持したものの、後半は個人消費の伸び悩みや国内設備投資の減速に加え、中国経済の停滞や地政学的問題に関するリスクが顕在化し、減速方向へ向かうことが懸念される状況となりました。

今後も当社グループは、企業理念“THE VALQUA WAY”のもと、“NV・S7”で掲げた諸戦略を速やかに実行に移すとともにニーズの先取りをする姿勢を徹底し、さらに社員一人ひとりのグローバルな環境変化への対応力を鍛え、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

平成28年6月

代表取締役社長 兼 CEO

龍澤 利一



シール製品事業

売上高 **28,013** 百万円

売上高
構成比 **68.2** %



事業概況

先端産業市場向けが順調に拡大し、売上高は280億1千3百万円（前年同期比1.9%増）となったものの、国内プラント向けの販売が減少した影響を受け、セグメント利益は26億4千1百万円（同0.9%減）となりました。

今後の展開

バルカーグループのコア事業として、海外展開の加速を図るとともに、シールエンジニアリングサービスの提供を通じた顧客接点の強化を行い、業績の拡大を図ってまいります。

機能樹脂製品事業

売上高 **10,217** 百万円

売上高
構成比 **24.8** %

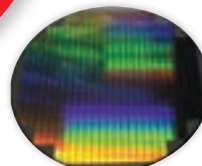


連結売上高
41,120
百万円

その他事業

売上高 **2,889** 百万円

売上高
構成比 **7.0** %



事業概況

国内外の先端産業市場に向けた販売が伸び、売上高は102億1千7百万円（前年同期比1.5%増）となったものの、中国経済の減速の影響などにより、セグメント利益は3億5千5百万円（同24.2%減）となりました。

今後の展開

海外市場に向けて業容の拡大を行うとともに、国内においても新たな分野へ果敢に挑戦し、ノンシール分野の中核事業として成長を図ってまいります。

事業概況

先端産業市場向けの拡大を図るとともに、“選択と集中”を推進するなど収益性の改善に努め、売上高は28億8千9百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は1億2千6百万円（前年同期はセグメント損失3億2千万円）と改善いたしました。

今後の展開

主にメンブレン製品を対象に選択と集中を速やかに実施するとともに、シリコンウエハーリサイクル事業等の拡充を行い、収益性の向上を図ってまいります。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	当期 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
売上高	40,021	41,120
売上原価	26,746	27,257
売上総利益	13,274	13,863
販売費及び一般管理費	10,460	10,739
営業利益	2,814	3,123
経常利益	3,087	3,058
税金等調整前当期純利益	2,893	2,690
当期純利益	1,926	1,845
親会社株主に帰属する当期純利益	1,803	1,752

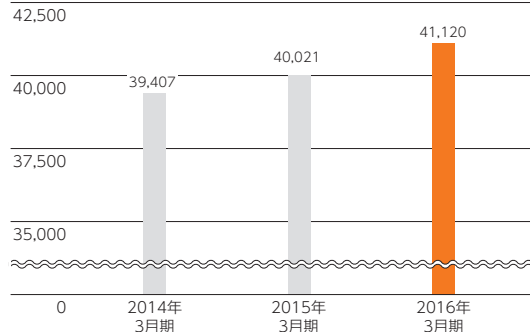
連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2015年3月31日	当期末 2016年3月31日
資産の部		
流動資産	23,123	23,385
固定資産	20,527	19,860
繰延資産	18	13
資産合計	43,669	43,258
負債の部		
流動負債	10,980	12,285
固定負債	3,828	2,468
負債合計	14,808	14,753
純資産の部		
株主資本	25,343	26,031
その他の包括利益累計額	2,208	1,120
非支配株主持分	1,308	1,352
純資産合計	28,860	28,504
負債純資産合計	43,669	43,258

売上高

単位：百万円

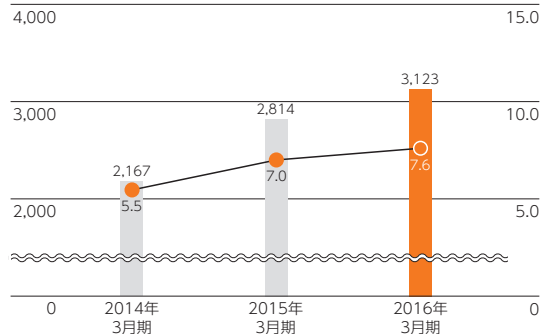


営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

■ 営業利益 ● 営業利益率

単位：%



配当

	中間	期末	年間配当
2014年3月期	5.0 円	5.0 円	10.0 円
2015年3月期	5.0 円	6.0 円	11.0 円
2016年3月期	6.0 円	6.0 円	12.0 円

VALQUA NEWS

韓国で先端産業向けエラストマーの生産・研究体制を拡充 ― “From Korea” で新たな価値の創出を ―

2012年、世界トップを走る韓国半導体業界への対応力を強化するため、この地で現地生産を開始しました。それから3年、バルカーの高機能エラストマー製品は、その品質において全世界で高い評価を受けるまでに至りました。ここに来て新たな顧客要請に応えるため、生産能力の増強と開発センターを設置しました。

この目的は、生産能力の増強のみならず、新製品の開発・改良のスピードを上げることにより、韓国グローバル企業との関係強化を通じての新たな価値の創出をすることにあります。

今後は“Made in Korea”に加えて、さまざまな意味での“From Korea”の製品によって、韓国、そしてグローバル市場での拡大を図ります。



バルカーコリア第二工場（イメージ写真）



生産能力を拡充している高機能エラストマー製品

VALQUA NEWS

プラント市場向け製品の生産拠点の最適再配置を推進 ― 成長地域に向けてサプライチェーンを整備 ―

当期から開始した第7次中期経営計画“NV・S7”における主要戦略のひとつに『スクラップ&ビルドによるQCDSの飛躍的向上』があります。

“生産拠点の最適再配置”はその代表的な取り組みです。

事業環境の変化が早くかつ大規模に進むなか、さまざまな産業における生産シフトがグローバル規模で行われています。バルカーもその動きに呼応するとともに、サプライチェーンの効率性や即応性をさらに高めるために、また、カントリーリスクなどの観点から、生産拠点の最適再配置を実施しています。

当期は、プラント市場向けなどのシール製品の一部の生産を中国からベトナム、タイに移しました。

今回の動きにより大型プラントの新設が期待されるASEAN地域における顧客接点の強化とさらなる需要の獲得が期待されます。



バルカーベトナム外観

耐放射線性エラストマー製品 “高機能EPDM”

— 多様な産業へ、用途展開に期待 —

発電ソースとして核燃料を取り扱うなかで、原子力設備の安全性を向上させていくことは、全世界・全関係者の責務と言っても過言ではありません。

バルカーは、その厳しい安全基準をクリアすることはもちろん、現場での取り扱い性にも優れた素材として“高機能EPDM”を開発し、まずは原子力関連市場に向けて発売を開始しました。

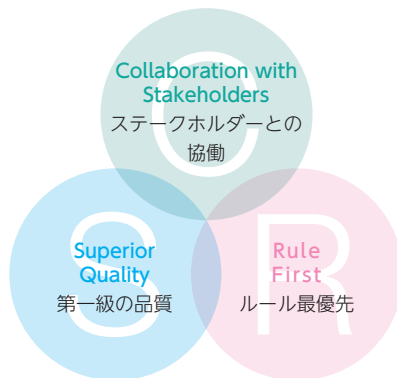
“高機能EPDM”の特徴は、特定の環境において長所が出ることなく、さまざまな条件下で優れた特性を発揮することにあります。このことにより原子力発電における安全性向上への貢献のみならず、将来には航空宇宙産業や燃料電池シール、高圧フロン用途や電磁弁シールなどの多様な産業に寄与することも期待されています。



高機能EPDM製品

CSR
REPORT

《CSR》『パイオニアたちの歩み』発行 — 先達から学ぶ “THE VALQUA WAY” —



1927年創業以来、バルカーは数多くの困難を乗り越えて、独自の技術を磨いて製品を開発してきましたが、それぞれの時代の経営陣そして社員が等しく持っていたのはあくなきチャレンジ精神と情熱です。

この度、社員教育用に発行した『パイオニアたちの歩み』は、先達が迷い苦しみながら歩んできた道をドキュメンタリータッチにまとめ、現在の社員一人ひとりが企業理念『THE VALQUA WAY』が生まれた背景を理解し、チャレンジ精神のさらなる喚起をする内容となっています。

『パイオニアたちの歩み』で学んだ社員が、新たな顧客価値の創造をし、“新たなパイオニア”となる日は近いかもしれません。



“パイオニアたちの歩み”vol.1～vol.3を発行

会社の概況 (2016年3月31日現在)

社 名	日本バルカー工業株式会社 NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.
創 業	昭和2年1月21日
設 立	昭和7年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	93,443,668株
株主総数	10,833名
従業員数	427名 (連結 1,485名)

役 員 (2016年6月21日現在)

取締役

代表取締役社長 兼 C E O	瀧澤 利一
専務取締役	黒川 清敬
取締役 専務執行役員 (CCO)	加藤 慶治
取締役(社外)	清川 佑二
取締役(社外)	関 忠行

監査役

常勤監査役	林 遙
監査役(社外)	中根 堅次郎
監査役(社外)	八戸 孝彦

CEO = 最高経営責任者
CCO = 最高コンプライアンス責任者

執行役員

専務執行役員	小林 健一
専務執行役員	小田 博志
専務執行役員	山根 啓
常務執行役員	浜田 浩
常務執行役員	青木 睦郎
執行役員	高 昭夫
執行役員	小川 禎
執行役員	椿山 善昭
執行役員	上田 和也
執行役員	平石 智之
執行役員	谷田部 麻美子
執行役員	朝比奈 稔
執行役員	立田 寛
執行役員	櫻井 慎也

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告
<http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



日本バルカー工業株式会社
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560
URL : <http://www.valqua.co.jp/index.html>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。